

## 主要損害保険会社の令和6年9月期決算の概要

### 1. 損益の状況（連結）

- 正味収入保険料は、国内事業では火災保険における料率改定前（令和6年10月）の契約増加や、海外事業の好調に円安が重なったこと等により、前年同期に比べ増収。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、国内事業における政策株式の売却益増加に加え、海外事業における円安の影響等により、前年同期に比べ増益。

（単位：億円）

	令和4年9月期	令和5年9月期	令和6年9月期	前年同期比
正味収入保険料	64,793	68,094	74,990	6,895
経常利益	574	5,884	19,153	13,269
特別損益	35	▲ 163	▲ 567	▲ 404
親会社株主に帰属する中間純利益	196	4,240	14,097	9,856

### 2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、国内株式の残高削減による資産運用リスク相当額の減少を主な要因として、前年度末に比べ42.5ポイント上昇。

（単位：％）

	令和5年3月期	令和6年3月期	令和6年9月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	742.7	759.3	801.8	42.5Pt

（注）「連結」は、東京海上HD、MS&AD HD、SOMPO HDの3グループを集計。なお、国際財務報告基準（IFRS）を適用している海外連結子会社等において、IFRS第17号「保険契約」を令和5年9月期の期首から適用。令和4年9月期については遡及適用後の数値。

「単体」は、東京海上日動、三井住友海上、あいおいニッセイ同和及び損保ジャパンの4社を集計。